

お知らせ

今回はNPO法人 優美の皆さんと開催しました。NPO法人 優美は、湖北地域の高齢者を対象にリハビリを中心としたデイサービスやケアマネージメントをされている特定非営利活動法人（NPO）です。

懇談の中で、介護予防における産学官連携についてお話をいただきました。NPO法人 優美では、介護福祉サービスの実践と大学の教育研究活動の交流・連携を図るため、大学との業務協定を検討されています。今後、市とどのような関係が構築されているのか、産学官それぞれが連携して利用者の心の問題について共に協力していきたいと話がありました。

市と大学の連携については、介護予防事業の転倒予防教室の開催に当たり、聖光大学の先生や卒業生、在学生が協力をお願いできないか、また、介護予防事業を進める中で、評価と内容改善に取り組む必要がある、その評価をどのような方法で行うか、健康運動実践指導者の資格を持った人が介護の中で活躍するだけでなく、アロマセラピーなどができるか、アロマセラピーなどについてお話をいただきました。

市では、風通しのよい開かれた市政を実現するために、市内の自治会をはじめ、自主的な地域活動を行っているグループ等を対象に、市長が市民の皆さんの声を聴く「座ぶとん会議」を開催しています。

市では、風通しのよい開かれた市政を実現するために、市内の自治会をはじめ、自主的な地域活動を行っているグループ等を対象に、市長が市民の皆さんの声を聴く「座ぶとん会議」を開催しています。

市では、風通しのよい開かれた市政を実現するために、市内の自治会をはじめ、自主的な地域活動を行っているグループ等を対象に、市長が市民の皆さんの声を聴く「座ぶとん会議」を開催しています。

座ぶとん会議

24

「健康で長生きをねがひます」
NPO法人 優美



市では、風通しのよい開かれた市政を実現するために、市内の自治会をはじめ、自主的な地域活動を行っているグループ等を対象に、市長が市民の皆さんの声を聴く「座ぶとん会議」を開催しています。

市長コラム⑩

至誠通天

藤井 勇治

※至誠通天 誠を尽くせば天が味方してくれること



夢と希望の長浜市をめざして

明けましておめでとうござい
ます。皆様には輝かしい希望に
満ちた新春を健やかに迎えの
ことと、心からお慶び申しあげ
ます。本年もどうぞよろしくお
願いします。

昨年を振り返りますと、東日
本大震災、台風による風水害な
ど日本列島に大きな爪痕が残る
年でした。犠牲になられた方々
のご冥福をお祈りし、被害に遭
われた方々に心からお見舞い申
し上げます。

とりわけ福島第一原子力発電
所の事故は、原発の立地市に隣
接する本市にとって大きな衝撃
でした。市として、危機管理体
制を見直し、災害に対する備え
を万全にし、大切な故郷と市民
の安全を守る為に今後も原子力
防災に全力で取り組んでまいり
ます。

このような中、本市において
は、原子力災害に限らず、いつ
起こるか分からない災害等によ
る被害を防止・軽減するために、
新たに「長浜市地域防災計画」
の策定を行ったところでです。

県立高校再編問題は、県教育
委員会の唐突で不透明な原案に
対し、県知事・県教育長に地元
の意見を反映するよう申し入れ
を重ね、交渉の結果、一旦立ち
止る事になりました。今後、次
の世代を担う子ども達の大切な
教育について、検討委員会での
提言を県教育委員会に示してい
く方針です。

合併から2年が経過し、元氣
で活力あるまちづくりを進める
中で、「江・浅井三姉妹博覧会」
を324日間に渡り開催しまし
た。おかげさまでメイン3会場
の入館者が118万人を超すな
ど、大成功で終わることができ
ました。合併後初の広域的な催
しとして、市内の旧市町の枠を
越えて実施したことで、長浜市
全体の一体感の醸成にもつなが
りました。博覧会の成功は、ま
さに「長浜市民力」が結集し、
見事に花開いた結果と言えます。

今年、「新生・長浜市」の力
強いスタートの年にしたいと思
います。昨年培った「長浜市民
力」に自信と誇りを持ち、人と
人との「縁」を大切に、夢と
希望の長浜
市をめざし
一生懸命働
いてまいり
ます。市民
の皆さんの
ご支援をよ
ろしくお願
いいたしま
す。



お知らせ

みどりいっぱいのに

シリーズ⑩「盆梅の育て方」

梅は日本古来の花で昔から多くの人に親しまれ、盆梅は盆栽のなかでも色鮮やかなものとして楽しむことができます。その盆梅の育て方について簡単に紹介します。

盆梅は一年中鉢で管理しますが、植えたままにすると根が張り広がるため、3年から5年に1度植え替えが必要です。水はけが悪くなったときに替えどきで、花が咲き終わってから芽が開き始める前の時期に植え替えます。根に付いた古い土を、根もとから2/3程度残して振るい落とし、土を落とした根先は切り落とします。用土は、赤玉土（小粒）と砂（小粒）を1対1の比率にした混合土が一般的です。

花が咲き終わった後はすぐに剪定します。新芽を枝の元から2芽ほど残して、その先を切り落とします。枝元の芽は枝先に比べて小さいので見逃さないようにしてください。

次に肥料ですが、新芽が出てくる4月上旬に肥料を与え、その後は10月上旬までの間に5回

身近なみどりづくりのヒントとして、花や樹木の
手入れ方法などを紹介していきます。

ほど与えます。梅雨の時期には根腐りを防ぐために肥料を与えてはいけません。肥料は油粕の玉肥等を使用します。

暖かくなってくると、病害虫が発生しやすくなります。発生した場合は、その害虫や病気にあった殺虫剤や殺菌剤を散布してください。

新芽が伸び、葉が10枚ほど付いたところに、それ以上伸びないように新芽の先を摘み取りましょう。

水は、やり過ぎても少なすぎても良くありません。鉢の表面が乾いたら、鉢の底から水が流れてくくらいたっぷりと与えます。

盆梅の手入れのポイントは、水やりと肥料、病害虫に気を付けることです。毎日愛情を込めて丁寧に付き合うようにしましょう。



問都市計画課 (☎65-6541)

節電や地域温暖化防止のために

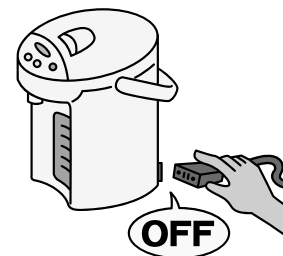
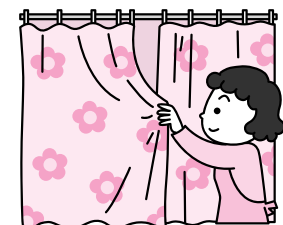
環境にやさしい楽エコライフを！

冬は暖房によりエネルギー使用量やCO2排出量が増える時期です。今冬も電力不足により節電が呼びかけられていますが、環境にやさしい楽エコライフは節電や地球温暖化防止につながります。

暖房をまったく使わないなど、無理な生活をするのではなく、長く続けられることに取り組みしましょう。

●家庭ですぐにできる取り組み

対象	分野	対 策
全般	断 熱	1. 窓に空気層のある断熱シートを貼る。
	衣 類	2. 暖房時にカーテンやブラインドを閉める。
リビング	暖 房	3. 重ね着などにより暖かくする。
	暖 房	4. 湯たんぽ、ひざ掛けなどを活用する。
台所	照 明	5. 家族ができるだけ同じ部屋で過す。
	照 明	6. 暖房時は部屋のドアやふすまを閉め、暖房範囲を少なくする。
お風呂	節 電	7. 扇風機などを使い、天井付近の暖かい空気を循環させる。
	時 短	8. 照明を使用するとき以外はこまめに消す。
	節 電	9. 電気ポットや炊飯器の保温をやめる。
	時 短	10. 家族が続けて入り、風呂の追い炊きをしない。



問環境保全課
(☎65-6513)